

おそれず立ち向かっていく力

さいたま市教育委員会委員
五十嵐 千代

パキスタンで女性の教育を受ける権利や平和を訴えていた14歳のマ
ララ・ユサフザイさんが、2012年10月9日にイスラム原理主義タリ
バーンから銃撃を受けました。この知らせに、パキスタン内の多くの少女
達は、事件を悲しみマララさんの回復を祈る中、その中の一人は、「マラ
ラひとりではないわ。私たち皆も同じ思いでいることを忘れないで！」
と海外の記者に力強く話している姿が印象的でした。

世界中の国々には、食べるものもない子供たち、マララさんのように
勉強をしたくても戦争やテロなどで勉強できない子供たちなど、生きて
いくのに精いっぱいの子供たちが数多くいます。日本のように皆が勉強で
きる環境にある国は世界的にみてごくわずかなのです。つらいこと、泣き
たいこと、悲しいこと。きっと、いろいろあると思います。でも、決して、
一人ではありません。家族、先生、友達、地域の人々。相談すれば、だれ
か必ず助けてくれます。

さあ、空を見て、大きく深呼吸して！

マララさんとパキスタンの少女達のように、勇気がわいてくるはずで
す！

※五十嵐委員は、東京工科大学医療保健学部 准教授として御活躍されています。

保護者の皆様へ



さいたま市教育委員会

いじめや自殺など子どもをめぐる痛ましい事件が発生しております。さいたま市教育委員会は、市にゆかりのある方々に御協力をいただき、子どもたちに「希望をはぐくむメッセージ」をお届けすることといたしました。

学校では、子どもたちにメッセージを読み聞かせました。ぜひ御家庭でも話題にさせていただきようお願いいたします。